

ギリシャのピアノ奏者アレクサンドロス・カペリスのリサイタルが12日、岡山市民会館(同市北区丸の内)で開かれ、エーゲ海を思わせる色彩感に満ちた好演に約1400人の聴衆が酔いしれた。

欧米で広く活躍するカペリスの初来日公演。ベートーベンのピアノソナタ「悲愴」「月光」を叙情的に奏



ギリシャのピアニスト

エーゲ海思わせる調べ

カペリス岡山初公演

で、生誕200年のリストの「ため息」「オルフェウス」で確かな技巧を披露。ドビュッシーの「喜びの島」では、ギリシャ神話の情景を繊細なタッチで描き出した。

障害者週間(3～9日)

にちなみ、盲導犬や車いすの利用者ら演奏会に行く機会の少ない人たちが招待され、1曲ごとに盛んな拍手を送っていた。

拍手に応じて手を合わせるカペリス

日本音楽文化交流協会(東京、及川光悦代表)が毎年、東欧などの音楽家を招く国際親善交流特別演奏会の一環で、岡山県内は初開催。会場で募った東日本大震災義援金は、日本赤十字社を通じて贈る。

(松山定道)